



講師の武藤さんに身近なもので作る工作を教えていただきました。コロナ禍で緊急事態宣言発出の中、Zoomにて開催され、11名が参加しました。参加者は童心にかえり、折り紙を飛ばす時は画面から消えたり、笑い声が聞こえたりと各自、自宅で楽しみました。

### ◆牛乳パックでコマ

【材料】牛乳パック、ペットボトルのフタ

【道具】ハサミ、セロハンテープ、マジック

#### 【作り方】

- ①牛乳パックの長い辺を底に向かって切り、4面を開く。
- ②4面の端を好きな長さに切り落とす。角を丸くしても良い。
- ③4面に絵を描く(回した時に楽しい模様に!)。
- ④ペットボトルのフタを、牛乳パック底(内側)にセロハンテープで貼り付ける。

【遊び方】ペットボトルのフタを持って回す。

【ポイント】コマは端が浮いていないと回らない。牛乳パックを開くと4面が少し浮いているので、それだけでよく回るコマになる。

牛乳パックの4面の長さが長いもの、短いものの、端を斜めに切り落としたものなどいろいろなバージョンを作成しました。坂口さんが牛乳パックの底だけを切り取ったコマを紹介してくださいました。



### ◆回るお皿

【材料】紙コップ、紙皿、曲がるストロー、紙皿の上のせる物

【道具】ハサミ、セロハンテープ、マジック

#### 【作り方】

- ①曲がるストローの短い方を先端から1.5cmほど4つ切れ込みを入れる。
- ②ストローの切り込みを開き、紙皿の裏面中央にセロハンテープで貼る。
- ③紙コップの底面中央と紙コップのサイドに一箇所ずつ、ストローが通る穴を開ける。
- ④紙コップを逆さにし、底面(外側)からストローを差し込み、側面の穴から出す。
- ⑤紙皿に絵を描いたり、物を貼り付ける。

【遊び方】紙コップ側面から出ているストローを回し、紙皿を回す。

【ポイント】ストローを紙コップに入れてから紙皿に貼り付けるのは小さな子どもには難しかったため、上記順序にしたそうです。

紙皿にクリスマスツリーをのせたり、メリーゴーランドを作ったりと、みなさん思い思いの物をのせたり描いたりして遊びました。

武藤さんが子どもたちと楽しんだ時には、猫とネズミの追いかけっこを作った子どももいたそうです。武藤さんの「子どもは決まりがないものは得意」という言葉が印象的でした。



—2—

### ◆筒状の折り紙を飛ばそう

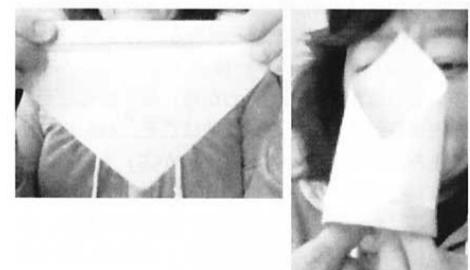
【材料】折り紙

【道具】セロハンテープ

#### 【作り方】

- ①折り紙を半分に折り、三角形にする。開いて、片側だけ真ん中の線まで三角形に折る。さらに半分に折る。もう一度半分に折る。
- ②両端を合わせて筒を作り、セロハンテープでとめる。

【遊び方】折った(重い)方を前側にして飛ばす。階段などから落とすとよく飛ぶ。



### —〈1月の科学あそび分科会〉2—



B  
折り紙で作ったものも手のスナップを効かせるとよく飛ぶことや、筒の先端に羽(紙を細長く切ったもの)を貼り付けると羽がパタパタして綺麗に見えるという話も出ました。

### ◆他にもいろいろ

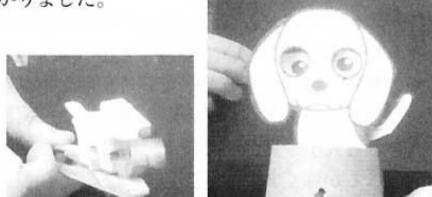
#### 武藤さん

モールで蝶々を形作り紙皿の上に置く。紙皿の下に磁石をあて、蝶々を動かします。

応用として、紙皿に顔の輪郭を描き、眉や口をモールで形作って動かすと更に面白くなる、という話がありました。

#### 野呂さん

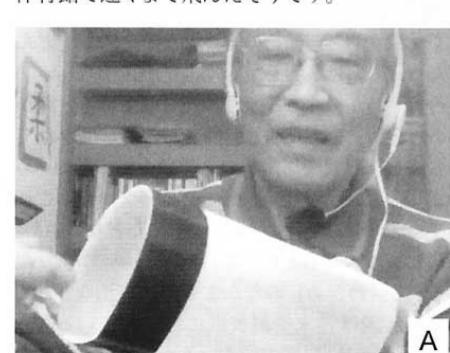
ウッドクリップに犬をつけて、クリップを開閉することで餌を食べるようにしたものや、振り子で犬の目が動くものを紹介してくださいり、盛り上がりました。



野呂さんがクッションシート(割れ物の梱包用。百均で購入可)バージョンを紹介してくださいました。

A. クッションシートを筒状にし、先端に工作紙を貼り(両面テープ)、重くする。手のスナップを効かせて投げるとよく飛ぶ。

B. もっと大きな筒。先端に針金を入れたもの。体育館で遠くまで飛んだそうです。



—3—